

JICPA では、

サステナビリティに関する公認会計士の能力開発を行っています

日本公認会計士協会（JICPA）では、2026年4月1日から、公認会計士向けの研修プログラムとして「JICPA サステナビリティ専門プログラム」の運用を開始します。

🎯 目的

昨今の企業経営や投資家行動におけるサステナビリティの重要性の急速な高まりと、これを反映したサステナビリティ情報開示及びその信頼性確保に向けた取組の進展を受け、公認会計士がサステナビリティの知見・能力を向上させる必要性が高まっています。

「JICPA サステナビリティ専門プログラム」は、
公認会計士のサステナビリティに関する専門性の向上を支援します。

💡 専門プログラムで身に付く専門性

体系的な研修プログラムにより、公認会計士に必要なサステナビリティの専門性を効果的に身に付けることができます。

✓ 体系的なサステナビリティの知見

サステナビリティに関する主要な概念や枠組みをはじめとする、サステナビリティに関する知見を体系的に習得できます。

✓ 企業経営とサステナビリティの関係の理解

サステナビリティが企業経営や企業価値にどのような影響を及ぼすのかを理解し、経営者・投資家との対話に必要な視点を習得できます。

✓ サステナビリティ開示・保証の実務対応

開示基準・保証基準等の要求事項や実務上の様々な論点を取り扱うことにより、サステナビリティ開示・保証の実務に必要な専門的知見を獲得できます。

✓ サステナビリティ情報と財務情報のつながりの理解

サステナビリティ情報と財務情報のつながりを捉える視点が身に付きます。

❓ JICPA サステナビリティ専門プログラムとは

3段階のコースをご用意しています。ご自身の目的に合わせて、必要なコースをご受講ください。全てのコースを並行して受講いただくことも可能です。

ベーシックコース

想定受講者：全ての公認会計士

サステナビリティ開示・保証に関する基礎的な研修を取り扱うコースです。
サステナビリティ保証業務に従事するかどうかに関わらずご受講いただきたい内容となっています。

講義内容の例 サステナビリティ開示・保証の概要、主要なサステナビリティ論点の概要 等



コアコース

想定受講者：サステナビリティ保証業務に従事する公認会計士

サステナビリティ開示・保証に関する基準解説や、より実務的な内容を取り扱うコースです。
サステナビリティ保証業務に従事する公認会計士にご受講いただきたい内容となっています。

講義内容の例 サステナビリティに関する開示、職業倫理、品質管理及び保証の基準解説 等



アドバンスコース

想定受講者：サステナビリティ保証業務に保証業務執行責任者・現場統括者として携わる公認会計士

サステナビリティ開示・保証に関するより発展的な研修を取り扱うコースです。
サステナビリティ保証業務の中核人材として従事する公認会計士にご受講いただきたい内容となっています。

講義内容の例 サステナブルファイナンス、生物多様性、その他発展的な論点の解説 等



修了証（デジタルバッジ）を発行します。

専門プログラム修了者には、サステナビリティに関する一連の研修を修了したことの証明としてコースごとに修了証（デジタルバッジ）を発行します。

▶▶▶ より詳しい情報は、JICPA ウェブサイトをご確認ください。

